

Governor's Monthly Letter

11
2014

国際ロータリー第2560地区 2014-2015年度「ガバナー月信」

Rotary  2014-2015
Rotary International District 2560

「ロータリー財団」月間に寄せて

ロータリー財団委員会 委員長・パストガバナー **渡辺 敏彦** (新潟南 RC)

委員会・イベント報告

第14回ライラ研修会報告

第1回米山委員長セミナー報告

佐々木年度地区大会記念親睦ゴルフ大会報告

第2560地区ロータリーデー報告

木戸 信輔 (加茂 RC)

安藤 幸夫 (新潟東 RC)

西巻 吉弘 (小千谷 RC)

岩本 剛夫 (小千谷 RC)

IM 報告

第1分区 IM 報告 **篠沢 正** (豊栄 RC)

第3分区 IM 報告 **木村 晃** (村松 RC)

第7分区 IM 報告 **大谷 光夫** (高田 RC)

第6分区 IM 報告 **村山 栄治** (十日町 RC)

クラブ紹介

第3分区クラブ紹介 **新津中央ロータリークラブ**

佐々木昌敏ガバナーメッセージ

ロータリーデー開催



国際ロータリー第2560地区
ガバナー 佐々木 昌敏

目次

1. 目次
2. ガバナーメッセージ 佐々木昌敏
3. 「ロータリー財団」月間によせて ロータリー財団委員会 委員長・パストガバナー 渡辺 敏彦(新潟南RC)
4. 第14回ライラ研修会報告 ライラ委員会 委員長 木戸 信輔(加茂RC)
5. 第一回米山委員長セミナー 米山記念奨学委員会 委員長 安藤 幸夫(新潟東RC)
6. 佐々木年度地区大会記念親睦ゴルフ大会報告 担当幹事 西巻 吉弘(小千谷RC)
7. 第2560地区ロータリーデー報告 担当幹事 岩本 剛夫(小千谷RC)
8. 第1分区IM報告その1 第1分区ガバナー補佐 篠沢 正(豊栄RC)
9. 第1分区IM報告その2
10. 第3分区IM報告 第3分区ガバナー補佐 木村 晃(村松RC)
11. 第7分区IM報告 第7分区ガバナー補佐 大谷 光夫(高田RC)
12. 第6分区IM報告その1 第6分区ガバナー補佐 村山 栄治(十日町RC)
13. 第6分区IM報告その2
14. 第3分区クラブ紹介 新津中央ロータリークラブ 遠山 悦男(新津中央RC)
15. 新会員紹介その1
16. 新会員紹介その2
17. 文庫通信 326号
18. ロータリー文庫通信
19. ハイライト米山 175-1
20. 175-2
21. 2013-2014年度 9月末会員数および出席報告

* PDF版では目次の各記事名をクリックする事で
該当のページへ直接移動します。
また各ページ下部の目次へをクリックする事で
このページまで戻る事が出来ます。



ロータリーデー開催

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度
ガバナー 佐々木 昌敏

みなさん こんにちは！

温暖化の影響か、自然災害がつづいております。中越地震から10年が経つ新潟県は、このところ災害が少なく落ち着いた日々をすごさせていただいており、ありがたいと思っております。



公式訪問は順調に消化して10月中旬で2560地区56クラブのうち38クラブすみしました。各クラブとも会員基盤の強化には鋭意取り組んでおり、いよいよ熱気を帯びて参りました。大変心強くまたありがたいと思っております。冬将軍が来ないうちに各クラブとも目標を達成してもらいたいと期待いたしております。ロータリアンはその地域の事情、その地域の人々を最もよく承知している方々ですから、その気になって会員増強すれば3人や4人の会員を増やすことなど簡単なことだと思います。

要は本気になるかどうかということだと思います。クラブの会長さん、幹事さんが中心となって、みんなでよく相談してすすめていけば（誘っていけば）必ずうまくいくと思います。

10月12日（日）地区のロータリーデーを開催いたしました。朝霧が晴れて、雲ひとつない秋空のなかで、2560地区のロータリアン、その家族、奨学生、学友そしてその家族など300名近くが、10年前の地震災害からネバリ強く立ち上がり、見事に復興した山古志の地を集って、ロータリーを祝い、ロータリーを楽しみました。稲刈り、育樹、植樹、アルパカと遊ぶ、山古志弁当、元ミスタータイガースこと掛布雅之さんの語らい、写真撮影、そして闘牛場での1 t もある牛同士の激突（観戦）、楽しい一日となりました。2560地区皆さんの祈りが天に通じ快晴に恵まれたことが一番という正直な声もありました。

鈴木重吉ロータリーデー実行委員長さん、ロータリー地域協働ネットワークセンターの皆様、小千谷RC、長岡市内RC、第6分区の皆さん、ほんとうにありがとうございました。

ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第 2560 地区ロータリー財団委員長
渡辺 敏彦（新潟南 RC）

「11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団への理解を深めましょう！」

1. ロータリー財団とロータリーは違う？

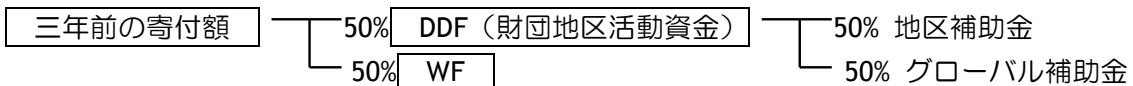
ロータリーの会費は、主にロータリーの組織を維持・運営するために使われます。ロータリー財団は寄付によって資金を得て、外部に対して活動します。「ポリオ撲滅運動」が代表例ですが、このことによりロータリーの奉仕団体としての評価は目覚ましく向上致しました。財団に寄付してこそ、ロータリアンの十分条件を満たすこととなります。

※ロータリーの発足は1905年

※財団の発足は1917年に「基金」として。その後1928年に「ロータリー財団」に。

2. 財団の新補助金システムはわかり易い？

2013-14からスタートした新補助金システムは、従来の財団と大きく違い、大変わかり易くなっています。



地区補助金もグローバル補助金も、地区とクラブの自主的な意思で、一定の基準は当然ありますが、人道的奉仕プロジェクトや奨学生派遣事業等にそれを活用することが出来ます。最大限では、3年前の寄付金の75%を充てることも出来るのです。是非各クラブで手を挙げて下さい。

3. ロータリー財団への寄付をどうぞ！！

今月こそロータリー財団への寄付の絶好の機会です。日本（34地区）の一人当たり目標寄付額は、150ドル（1年間で！）です。第2560地区の昨年一人当たりは140ドルです。あと一息です。クラブによっては、会費と一緒に徴収しているクラブもあると思いますが、それとは別に50ドルでも100ドルでも寄付をすると、ハッピーな気持ちになれることを保証します。クラブのロータリー財団委員長と会長は、是非ポール・ハリス・フェローを目指して頂ければ・・・と、願っております。

※今年度の寄付は、3年後に戻ってきて将来の我々の財団活動の資金源となります。

4. ロータリーカードのご加入！

まず、会長とロータリー財団委員長にお願いではありますが、ロータリーカードに加入して頂けますか？スタンダード、ゴールド、（法人カードが新しく登場）なんでも結構ですが、加入頂き1月1回でも使って頂く。そうすると、その0.3%が財団に還元されます。第2560地区は、ロータリーカード先進県を目指しませんか？

< ロータリー財団月間目標 >

何か一つでもロータリー財団に
ちなんだことを、11月にはやりましょう！

第 14 回ライラ研修会報告

国際ロータリー第 2560 地区ライラ委員長

木戸 信輔（加茂RC）

テーマ 「ひとづくり、まちづくり、自分づくり」

北越の小京都加茂において、9月27・28日とライラ研修会を開催致しました。佐々木ガバナーを始め、高坂青少年奉仕委員長、並びに原青少年奉仕副委員長を来賓にお迎えし盛大裡に開催し、研修生71人、ロータリアン41人の参加で、加茂・田上クラブ会員34名でおもてなしをさせていただきました。加茂に初めておいでになった方も大勢いらっしゃいましたが、加茂の商店街、豊かな自然を直に体感していただき、この加茂のまちを再生するにはどうすれば良いかをテーマにディスカッションを進めました。

1泊2日ではありましたが、天候にも恵まれ秋晴れの中、加茂山、護摩堂山にも登り、商店街のまちゼミにそれぞれ分散して、職場体験をしていただきました。そして、グループディスカッションを真剣に取り組む中に、研修生同志の出会いと友情を育んでいただき、生涯に残る研修となりましたことを、心から嬉しく、また、関係した全ての人々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第一回米山委員長セミナー

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員長
安藤 幸夫（新潟東 RC）

2014 年 10 月 4 日 JA 越後おぢや「グリーンパーク」におきまして佐々木ガバナー、植木パストガバナーご出席のもと、今年度第一回目の米山委員長セミナーが開催されました。

石沢雅弘さん(栃尾 RC)の司会進行でセミナーは始まり、15 分の米山に関する DVD を観た後、二つのテーマについてグループディスカッションが行われました。

「米山月間を成功させるために」

「米山制度の更なる充実のために」趣旨説明は宇尾野隆さん(新潟 RC)

50 名の各クラブ米山委員長が 7 つのグループに分かれての闊達な討議の始まりです。寄付増進の成功譚、苦労話、過去の受け入れた奨学生の思い出話や反日国の奨学生のあり方などなど限られた 90 分の時間があったという間に過ぎ去ってしまいました。

ときには話が脱線してしまうこともありながら(笑)

しかし、熱いながらも中身の濃いディスカッションができる、さすがロータリアンと唸ってしまいたくなる光景でした。

そもそもこの米山委員長セミナーの目的は、細かい米山の知識の習得ではありません。また寄付のあり方の正解を見つけることでもありません。まずは、自分の思いや時には愚痴も(笑)思う存分語り合ってもらうことにあるのです。

帰るときにはサッパリとした気分で、そして今なぜ米山奨学なのかのヒントを持ち帰っていただければと願っております。

米山委員長様のご健闘を祈ります。本当にご苦労様でした。

また、地区の米山奨学委員の方々、事務局のみなさん、準備設営本当にありがとうございました。



佐々木ガバナー年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会を終えて

国際ロータリー第 2560 地区地区大会記念親睦ゴルフ大会
担当幹事 西巻 吉弘（小千谷 RC）

2014年10月9日に行われました佐々木ガバナー年度の地区大会記念親睦ゴルフ大会が、239名登録の224名参加という大勢の皆様によって大会を盛り上げて頂き、大変有難うございました。当日は、絶好の天気で最高のコンディションの中で楽しくプレーをして頂けたのではないかと思います。

ゴルフの実行委員会では、この大会を行うにあたり心配な点が1つありました。小千谷カントリーは18ホールの為、カート数の不足、または日没によりスタート時間が遅い組がホールアウト出来なくなる可能性があり、とにかく天候だけが心配な点でした。

2日間開催を視野に入れ準備をすすめてきましたが、小千谷RCの9名だけ10日にプレーという形を取ることで、無事に大会を終えることが出来ました。お昼時間が、1時間30分以上になった組もありましたが、ご了承頂けたらと思います。

また、グリーンが速すぎるとの声もありましたが、楽しんでもらえていたなら幸いです。たくさんのロータリアンの皆様にご参加してもらい大変ありがとうございました。



2560地区ロータリーデーの報告

国際ロータリー第 2560 地区 ロータリーデー
担当幹事 岩本 剛夫（小千谷 RC）

さる10月12日（日）「第2560地区ロータリーデー」が長岡市山古志地域で開催されました。当日は、佐々木ガバナーをはじめロータリアンとその家族、インターアクト、ローターアクト、ローテックス、米山奨学生、地元地域の皆さまなど約300名が参加しました。また、ゲストとして佐々木ガバナーと親交の深い当地区三条市出身の元阪神タイガース掛布雅之氏をお招きし、一緒に作業に参加いただいたほか、トークショーやチャリティーサイン会を実施しました。

「ロータリーデー」は、ゲイリーC. K. ホアンRI会長が地域社会の人々と親しみながらロータリーを紹介し、ロータリーを理解してもらうよう開催を提唱され、当第2560地区ではロータリー地域協働ネットワークセンターが主管（実行委員長：鈴木重吉センター長）となり、地区内各委員長と連携し、中越大震災から10年、ロータリーが被災直後から支援してきた被災地の皆さまと協働し、地域の未来に向けたロータリー活動と地域コミュニティの活性化、次世代育成の一助となることをコンセプトに、油夫集落をはじめとする山古志地域の地元の皆さまに多大なるご協力をいただき、さまざまな内容のイベントが実施されました。

午前中は参加者を2つのグループに分け、災害でふるさとを離れるという同じ経験を持つ三宅島との交流から誕生した「三宅島田んぼ」の稲刈り・はざ架け作業、中越大震災で被災した里山の再生を図る取り組みとして行われているブナ苗の採取作業、山古志復興のシンボルであるアルパカ牧場の見学を行いました。

交流昼食会では、山古志総合体育館に参加者一同が集まり、神楽南蛮や山菜など地元特産品をふんだんに使った山古志弁当と、ロータリアン家族等が協力して作った豚汁を堪能しました。さらにゲストの掛布雅之氏によるトークショーやチャリティーサイン会を開催し、元巨人軍江川卓氏との対戦秘話など会場は大いに盛り上がりました。

午後は池谷闘牛場にて、国指定重要無形民俗文化財である「牛の角突き」を観戦したほか、希望者は中越メモリアル回廊の展示見学や水没集落跡の視察など、盛りだくさんのイベント内容に参加者は皆大いに満足し、大成功のうちに幕を閉じました。



第 1 分区 I M 開催の報告

テーマ「職業奉仕：忘れられた部門」

開催日：2014 年 9 月 23 日（火）

参加人数：165 名

国際ロータリー第 2560 地区第 1 分区ガバナー補佐
篠沢 正（豊栄 RC）

今回の I M では、先ず「忘れられた職業奉仕」の復活策を探し出すことと致しました。

ロータリーは他の社会奉仕団体と違って社会奉仕活動もやるが、職業奉仕と言う委員会があって自分たちの「事業の存続と繁栄」も併せて考える団体です。数ある社会奉仕団体のなかで、“四つのテスト”や“標語”のように「事業繁栄の経営哲学」を錦の御旗としているのは、唯一ロータリー以外にはありません。ロータリーが日本に入ってきた時、名だたる財界人が会員になってスタートしたのでロータリーは金持ちたちの慈善団体だと勘違いされていますが、実際には初代ガバナーの米山梅吉翁もロータリーの標語を「サービス第一、自己第二、の心掛けが事業成功の秘訣である」と訳しています。

そして、米山梅吉初代ガバナーの次の第 2 代目の井坂孝パストガバナーは「ロータリーアンはいたずらに慈善事業に浮き身をやつすことなかれ」と月信で提唱していました。

さらに昭和 30 年代の初め頃、神戸 RC の直木太一郎 P ガバナーも「先ず職業奉仕に徹して自分の企業を強靱な企業に作り上げ、社員を物心共に満たしてやった上で、しかる後に余裕があれば社会奉仕・国際奉仕に手を出すべきである」と提唱しました。

日本のロータリーは導入初期から職業奉仕を大切にしてきましたが、昨今のロータリーでは「職業奉仕」がすっかり忘れられて「限りなくライオンズ化」しています。

歴史的にも R I の職業奉仕委員会は 1948(S23)年に廃止され、長い凍結期間において 39 年後の 1987(S62)年に再開された経緯があります。しかし、長い期間廃止されていた職業奉仕委員会が再開されたということは、ロータリーにとっ

て「職業奉仕という部門」が必要であると結論づけられたということではないでしょうか。

元々、ロータリーは《自分たちの事業の存続と繁栄を考える「利己の心」の職業奉仕》と《見返りを求めずに世のため、人のために奉仕する「利他の心」の社会奉仕》と言う二つのエンジンを持つ双発機です。片肺飛行の状態をやめ「利己の心：職業奉仕」というエンジンも正常に作動させて、「入って頂くロータリー」から「入れて頂いて良かった」と言われる魅力のあるロータリーに変えようではありませんか。

しかし「職業奉仕の理念」は理解できても、具体的にどんなことを実践すれば成果が得られるのか。「自分の会社にどう落ちし込むか」と言う具体的な方策を実践しなければ、言葉遊びの「絵に描いた餅」に過ぎませんので、第一分区 9RC から「職業奉仕活動の活性化案」を発表して頂きました。



「I・Mを終えて」

国際ロータリー第 2560 地区第 3 分区ガバナー補佐
木村 晃（村松 RC）

去る9月27日（土）に第3分区インターシティー・ミーティングを村松ロータリークラブのホストとして開催いたしました。第3分区内6クラブより92名とたくさんのロータリアンにご参加いただきました。ありがとうございました。当地は城下町であると同時に軍都でもあります。現在の村松公園も日露戦争の戦勝記念公園として造られ、現在は県内屈指の桜の街として知られております。

当日は、第3分区唯一のインターアクトクラブの皆様にお手伝いいただき、村松地区のゆるキャラである「桜タマ吉」と「サクラナちゃん」がお出迎えし、たくさんの皆様に喜んでいただきました。

基調講演では、「私とロータリー」という演題でパストガバナー渡辺敏彦様をお迎えし、貴重なお話をいただきました。また、五泉市長伊藤勝美様より「ロータリーで培ったこと」をテーマに、ご自身のローターアクターとしての経験を中心とした記念講話をいただきました。

本年度RI会長ゲイリー・C. Kホァン氏が提唱する「ロータリーに輝きを」をテーマに、佐々木ガバナーが推進する会員増強を柱とし、ロータリーの存在感を高め、会員基盤の充実を目指しての勉強会となりました。懇親会では村松地区出身のシンガーソングライターの安中由依さんによるミニライブで会場も大いに盛り上がり、楽しく和気あいあいとして、会員の親睦を大いに深めることができたかと確信しております。

本I・Mが会員相互の親睦と連携意識の向上に、そして分区内の活発な情報交換の場になったものと思っております。そして、各クラブがますます発展し、新しい会員増強につながることを祈念申し上げます。

最後に参加いただきました分区内各クラブのロータリアン、事務局の皆様、当クラブの会員、家族、事務局、そしてインターアクトクラブの皆様に心より感謝を申し上げます。



第7分区 IM 開催報告

国際ロータリー第 2560 地区第7分区ガバナー補佐
大谷 光夫（高田 RC）

第 21 回第 7 分区 IM テーマ「地域のことをもっと知ろう」のもと、9 月 27 日（土）に村山市長 東山パストガバナーを来賓にお迎えし、ロータリアン 220 名の出席をいただき開催いたしました。

第一部では、国立大学法人上越教育大学と公立学校法人新潟県立看護大学の振興協力会を、また前年度地区ロータリー財団の補助金を活用した上越 職場の発達障害を考える会の 3 団体を分区内 8RC が地域貢献の一環として支援することの調印をし、第二部では、私達が知らない 古事記上巻に上越高田が登場する、謙信公も帰依した古代奴奈川王朝の神話のお話を川崎日香湊先生からいただきました。アトラクションとして第 9 代高田藩主 榊原正宗公が熱中した「能楽」を堪能いたしました。どちらも市民の皆様へ開放して一緒に見聞しました。

第三部の分区内ロータリアンがより親睦を深め仲間を増やし友を得るための交流会では、積極メイクアップで再会を誓い合うなど、終始なごやかな楽しい夕べの一時でありました。

開催にあたり地域の新聞にロータリーを広報いたしました。

最後にホストクラブの皆様、出席ロータリアンの方々にお礼申し上げ、開催報告といたします。



2014～2015年度 第6分区「IM」

国際ロータリー第 2560 地区第6分区ガバナー補佐
村山 栄治（十日町 RC）

国際ロータリー第 2560 地区第6分区の IM が 10 月 5 日、十日町ロータリークラブの村山栄治ガバナー補佐の主導で、十日町市の当間高原リゾートベルナティオで開催されました。

同日は第 2560 地区の佐々木昌敏ガバナーも出席されて、基調講演の講師を引き受けられた市川伊三夫氏（第 2750 地区パストガバナー）をお迎えになりました。午後 2 時から開会式が開始され、阿部武市実行委員長が開会宣言、村山ガバナー補佐が点鐘、国歌・RC ソング、握手タイム、参加クラブ紹介、村山ガバナー補佐挨拶、関谷馨十日町 RC 会長の歓迎の挨拶で開会式を終了。

基調講演は第 2750 地区パストガバナーで東京銀座 RC 所属の市川伊三夫氏が「ロータリーの魅力と会員増強の必要性」を演題に講演されました。続いたのパネルディスカッションでは「会員増強の現状と取組について」をテーマとして、十日町 RC・山内正胤君がコーディネーターを務め、第 6 分区の 6 クラブの会員増強担当が、それぞれの会員増強取り組みの現状を発表しました。市川氏がアドバイザーを務められ、女性会員を積極的に増員、高齢化の中で高齢者の入会も視野に入れる、外国人も積極的に勧誘をと指導された。山内コーディネーターのまとめには「これまでの取り組みを反省、入会を勧める人とのギャップを埋める、会員の人脈を最大限に生かす」でした。

各クラブ代表者の発言は、小千谷 RC 関暁君「4 月 12 日に行われた地区研修の場で、年度をまたぎ 7 名の純増を約束し、6 月まで 2 名入会、7 月以降 2 名入会、10 月 2 日 1 名入会承諾しました。自分の増強活動は 3 勝 10 敗 2 引分けです。活動は単独ではなく複数で、アポイントを取ってから行くことが大切です。」

雪国魚沼 RC 大竹一夫君「7 月 1 日付で 3 名入会、純増 2 名です。現状 23 名会員であるが 30 名を目指し活動したい。」

十日町北 RC 村山隆夫君「年度初め 22 名会員で 1 名の入会。候補者リストは 10 名ならずであるが 2 名 1 組で勧誘し、あと 2 名の入会を目指す。JCOB が商工会議所青年部に流れているが、メンバーの JCOB から入会を勧めてもらう。女性会員が現在 1 名なので増員を目指し華やかにしたい。」

津南RC粉川正明君「人口1万人程度の町で大変な環境です。ライオンズクラブが3～4年前解散したので、そのメンバーも含め2～3名で入会勧誘活動を先月から開始した。未充填を埋め3名増強を目指す。」

越後魚沼RC小島聡君「現在10名の会員ですが、影響力のある人の入会を目指し、年末から1月にかけて勝負にでたい。」

十日町RC村山徹君「創立以来初の女性会員の入会と独国籍のカールベンクス氏の入会を実現した。4名増強の目標を達成したい。」でした。

閉会式では、村山栄治ガバナー補佐より講評が行われ、次期開催クラブとして津南RC樋口賢一郎会長より挨拶があり、十日町RC副会長和久井工君より閉会の挨拶、村山栄治ガバナー補佐による点鐘で閉会した。

アトラクションが5時よりベルナティオ「山つつじ」で行われ、(ソプラノ)樋口由佳里トリオによるやすらぎのひとときがあり、5時15分より懇親会が行われ6時35分閉会しました。



第3分区クラブ紹介

『20歳を迎えた国道403号花街道7キロ』

新津中央ロータリークラブ 遠山 悦男

私達、新津中央ロータリークラブは旧新津市に有り、「社会に奉仕、会員の親睦と友情」を第一に活躍するクラブである。今年度は初代女性会長を先頭に、会員増強に取り組み、今年中に2名の新会員入会を確約した。

私達クラブの目玉行事紹介と言え、国道403号花街道づくりである。新潟蒲原平野、どこまでも続く田園のなかを走る国道403号、春は菜の花、夏はひまわり、秋は秋桜を季節に合わせて咲かせ、幅6メートルから10メートル、約7キロの長さ一面花が咲き乱れ人々の心を癒してくれる花街道である。

私が子供の頃、菜の花一面だった田園を思い出して、20年程前から植えた菜の花が最初だった。その5年後位から新津中央ロータリークラブの会員が資金援助や草取り、ゴミ拾い等の協力をしてくれ、今や我がクラブの社会奉仕の大きな行事となっている。車で行き交う大勢の皆さんに誉められ、新潟の風物としてラジオ、テレビ、新聞等に取り上げられた。わざわざ遠回りをして訪れる車も多く、秋葉警察署からも「お陰様で皆さんの心を癒してくれて、安全運転で交通事故も少ない」と賞賛され、新潟市も肥料や種その他、様々な援助をしてくれる。

国道403号は2車線で、12キロも続く草にうずもれた空き地だった。4車線になる予定はあるが、4車線になってほしいという期待と、4車線になると花街道は出来なくなってしまう寂しさがある。この25年間予算が付かず、工事は休止状態で、今では「貴男の楽しみを残すから、まだまだ花を咲かせてください」と国道事務所はそんな冗談を言う。

今年、新潟市、新潟商工会議所が国道403号花街道20周年記念式典を開催してくれた。式典では、新津中央ロータリークラブを初め協力者11人に感謝状が贈呈された。10年間も手伝いをしてくれた元新津市長、トラクターをくれた3人、同級生、元小学校校長先生が贈呈されたが、一番感謝状をあげたかった友人何人かは他界してしまった。20年間の間に大勢の皆さんの言葉にならないほどの協力があった。20年間の花街道活動、新潟市との合併のDVD上映に皆さん感動してくれた。記念式典の会場で童謡朧月夜の三番(作詞)を全員で大合唱し大変盛り上がった。

「越後の里に 春来たりて 行き交う車の 菜の花通り 遙かに望は佐渡 弥彦 空を染めて夕日沈む」

国道403号は、4車線化はまだまだ先らしい。新津中央ロータリークラブ中心に、これからも花街道に花を咲かせて行きたい。



新入会員報告その1

クラブ名：柏崎東ロータリークラブ
氏名：種村 利也
職業分類：
スポンサー氏名：徳間 昭則

クラブ名：柏崎東ロータリークラブ
氏名：竹田 豊和
職業分類：デザイン業
スポンサー氏名：徳間 昭則

クラブ名：柏崎東ロータリークラブ
氏名：野澤 歩
職業分類：
スポンサー氏名：

クラブ名：長岡西ロータリークラブ
氏名：長津 和彦
職業分類：公認会計士
スポンサー氏名：

クラブ名：村松ロータリークラブ
氏名：番場 靖明
職業分類：建設業
スポンサー氏名：野崎 和久

クラブ名：柏崎中央ロータリークラブ
氏名：布施 勝
職業分類：
スポンサー氏名：

クラブ名：加茂ロータリークラブ
氏名：阿部 貴行
職業分類：金融（信用金庫）
スポンサー氏名：小日向 正巳

クラブ名：加茂ロータリークラブ
氏名：松村 晴美
職業分類：居酒屋
スポンサー氏名：木戸 信輔

クラブ名：新井ロータリークラブ
氏名：河内 伸一
職業分類：建築
スポンサー氏名：古川 聡

クラブ名：新井ロータリークラブ
氏名：塚村 聡
職業分類：薬品製造
スポンサー氏名：雲田 俊夫

クラブ名：新井ロータリークラブ
氏名：佐藤 栄一
職業分類：家具販売
スポンサー氏名：東條 邦昭

クラブ名：十日町ロータリークラブ
氏名：カール ベンクス
職業分類：建築設計士
スポンサー氏名：

クラブ名：十日町北ロータリークラブ
氏名：金澤 春貴
職業分類：自動車小売業
スポンサー氏名：池田 重夫

クラブ名：高田ロータリークラブ
氏名：棚橋 博史
職業分類：葡萄酒製造
スポンサー氏名：藤林 陽三

新入会員報告その2

クラブ名：新潟南ロータリークラブ
氏 名：細田 康
職業分類：清酒製造
スポンサー氏名：富山 修一

クラブ名：佐渡南ロータリークラブ
氏 名：中川 誠
職業分類：内装業
スポンサー氏名：渡辺 秀一

クラブ名：小千谷ロータリークラブ
氏 名：花沢 寿英
職業分類：社会保険労務士
スポンサー氏名：位下 寿生

クラブ名：小千谷ロータリークラブ
氏 名：丸山 浩
職業分類：飲食業
スポンサー氏名：笹岡 正栄

クラブ名：新発田ロータリークラブ
氏 名：宮村 肇
職業分類：食品製造業
スポンサー氏名：



文 庫 通 信 (326号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎「人生は感動を求める旅-より多くの友を持とう」 市川伊三夫 [2014] (D.2530地区大会記念誌) 9p
- ◎「政局を語る」 飯島 勲 2014 11p (D.2520地区大会レポート)
- ◎「やっと見え始めた国家の再生」 中西輝政 2014 16p (D.2670地区大会記録)
- ◎「世界の出来事、日本の出来事～当事者意識で見方が変わる」 黒井文太郎 [2014] 11p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「ミッション・パッション・ビジョン」 大迫三郎 2014 2p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「未来に輝くサイエンス」 藤嶋 昭 2014 11p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「奉仕は我が人生」 渡邊美樹 2014 8p (D.2550地区大会記念誌)
- ◎「日本とミクロネシア連邦の関係」 ジョン フリッツ 2014 4p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「ロータリー、この素晴らしい世界」 関場慶博 2014 10p (D.2550地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーを实践しよう」 杉谷卓紀 2014 6p (D.2780地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
 TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日

<ロータリー文庫よりお願い>

書籍入手のお問い合わせ、コピーサービスお申し込みは、ロータリー会員のみに限ります。

コピーサービスの申込は、ホームページまたはFAXでお願いします。

FAX 番号：03(3459)7506

なお、お申し込みの際は書名・著者名の他に分類番号を御記入ください。



ハイライトよねやま 175

2014 年 10 月 10 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9 月までの寄付金は前年同期と比べて 13.1%増（普通寄付金 3.7%増、特別寄付金 26.3%増）、約 4,490 万円の増加となりました。これは、2002 年度以降、直近 13 年間で過去最高額です。好調の要因として、地区ガバナーや地区米山奨学委員長への支援の気持ちなどから、多くの高額寄付をいただいた結果です。心より厚く御礼申し上げます。10 月は米山月間です。先月に引き続き、今月も皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

GETS・ガバナーエレクトセミナー報告

GETS (Governor Elect Training Seminar)

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）が 9 月 2～3 日、都内で開催され、3 日午前のセッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、板橋敏雄理事長（当時）が 7 年間の在任中のご支援への感謝とともに、奨学事業の現況報告を行いました。また同日午後、配偶者同席の全体会議「ロータリー学友からのメッセージ」セッションでは、米山学友を代表して、よねやま親善大使の尤銘煌さんと楊小平さんがそれぞれスピーチを行いました。



よねやま親善大使の二人から感謝のスピーチ

2015-16 年度ガバナー米山記念奨学事業セミナー

翌 4 日には、当会主催のガバナーエレクトセミナーを開催。午前のセッションでは、北清治 R I 理事から基調講演を頂きました。「この事業の歴史的背景や素晴らしさは、常々実感し納得している。それを皆さんと一緒に確認したい」と、北 R I 理事は「ハイライトよねやま」バックナンバーを利用しながら事業のあゆみを紹介。「誇りと自信を持って、この米山記念奨学事業にも大きな貢献をしていただきたい」とガバナーエレクトにエールを送りました。



北 R I 理事による基調講演

また午後のセッションでは、「よねやま親善大使に聞く 10 の質問」「米山奨学事業での心に残る体験（ロータリーモーメント）卓話」に続いて、グループディスカッションを行いました。特に、グループディスカッションは「米山奨学事業の課題を検討できた」「各地区の問題点、悩みなどを具体的に聞けて良かった」と好評でした。お忙しい中、セミナーにご参加いただいたガバナーエレクトの皆さまに、心から感謝申し上げます。



初披露の YONEYAMA 体操でリフレッシュ



三井章義常務理事からの心温まる卓話



グループに分かれて真剣にディスカッション

米山奨学生・学友が敬老会に参加【第 2770 地区】

第 2770 地区（埼玉県南東部）の奨学生・学友 26 人が 9 月 14 日、越谷市にある社会福祉法人大吉会が運営する介護老人福祉施設、「キャンベルホーム」の敬老会に参加しました。これは、同地区米山奨学委員会による恒例行事で、司会進行・アトラクション・事前準備などすべてを米山奨学生が考えて実施。自国の民族衣装を紹介したり、歌や踊りを披露し、最後に全員で「ふるさと」を合唱して、高齢者の方々との交流を図りました。



参加した奨学生からは、「母国の祖父母を思い出し、親しみを感じました。またぜひ参加したい」「小さなことでも大変喜んでくださったので、もっと準備すればよかったと反省。貴重な経験をさせてくださったロータリアンの皆さんに感謝しています」などの感想が寄せられました。斎藤順彦同地区米山奨学委員長は、「短い時間でしたが、奨学生は奉仕を通じ、ロータリーの理念をより一層理解してくれたものと思います。このような機会を与えてくださった大吉会理事長の井橋吉一バーストガバナーをはじめ、同施設の関係者の皆さまに心より御礼申し上げます」と、述べました。

さまざまな寄付のカタチ — カウンセラーとして —

第 2750 地区 東京成城新 RC 会員の加藤イサム氏から、昨年度、今年度と 2 年連続で毎年 100 万円以上の高額寄付をいただき、これまでの寄付と合わせて第 25 回米山功労者となりました。これほど多額の支援をする理由には、韓国出身の米山奨学生・禹吳穎さんのカウンセラーを務める間に奨学生採用数が 800 人から 700 人へ縮減された現状を憂慮し、カウンセラーとして少しでも協力したいとの思いがある、と語っていただきました。



加藤イサム氏のコメント

初めて米山奨学生のカウンセラーを引き受けました。これまで人のために役立つことをあまりしてこなかったのが、一念発起しました。交流する中で、生活習慣や文化の違いを感じることもありましたが、それも含めていい経験でした。禹くんは真面目で素直な学生で、地区大会では奨学生を代表してスピーチを任されるほど優秀でした。母国で日本語を教える先生となって懸け橋になりたいという彼の夢を応援できたことが喜びでありました。米山記念奨学事業は、ロータリーが目指す世界平和に貢献する事業であると確信しています。

10 月は米山月間

10 月の米山月間にお使いいただける資料を 9 月下旬に全クラブへ送付しました。お手元に届きましたか？これらの資料を活用するほか、奨学生・学友による卓話の機会を作ってください、米山記念奨学事業への理解を深める月間にさせていただきますよう、お願いいたします。

- 事業紹介 DVD 各種あります。無料。HP で視聴できます
- 『豆辞典』をテキストに、解説用パワーポイント(当会 HP からダウンロード可)を使って卓話
- 現役奨学生・学友による卓話で生の声を聞く

こんな例会は
いかがですか？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

9 月末会員数および出席報告

第2560地区 2014-15年度 9 月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	90.25	352	356	37	4	
新発田	5	97.70	89	90	0	1
村上	4	91.41	33	34	7	1
水原	4	83.33	24	24	1	0
中条	4	89.71	34	34	3	0
新発田城南	4	94.48	43	44	7	1
豊栄	4	91.66	26	27	3	1
新発田中央	4	91.95	50	50	5	0
中条胎内	3	86.42	27	27	5	0
村上岩船	4	85.58	26	26	6	0
第2分區(9クラブ)	85.08	423	447	18	24	
新潟	4	85.01	92	98	0	6
新潟東	4	87.29	55	61	6	6
新潟南	4	88.80	90	93	0	3
佐渡	4	90.00	10	10	0	0
新潟西	4	83.83	32	38	2	6
佐渡南	4	98.19	42	42	4	0
新潟北	4	70.51	40	43	0	3
新潟中央	4	86.46	24	24	0	0
新潟万代	4	75.66	38	38	6	0
第3分區(6クラブ)	81.07	131	132	9	1	
新津	4	81.53	22	23	1	1
村松	4	85.00	9	9	0	0
五泉	4	91.47	20	20	3	0
白根	4	72.16	43	44	3	1
新津中央	4	84.83	28	27	1	-1
阿賀野川ライン	4	71.40	9	9	1	0
第4分區(11クラブ)	81.50	363	369	21	6	
三条	4	84.99	54	55	0	1
燕	4	73.55	29	30	1	1
加茂	4	82.50	29	30	5	1
三条南	4	91.29	51	52	1	1
分水	4	94.44	31	32	2	1
見附	4	73.00	20	19	1	-1
吉田	4	87.30	32	32	1	0
三条北	4	83.82	67	68	3	1
巻	4	90.00	10	10	0	0
田上あじさい	4	50.00	7	7	1	0
三条東	3	85.56	33	34	6	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	85.85	299	312	31	13	
長岡	4	81.30	42	44	3	2
柏崎	4	87.13	45	50	0	5
長岡東	4	85.50	63	63	7	0
柏崎東	4	96.00	45	50	5	5
栃尾	4	72.50	22	22	0	0
長岡西	4	85.12	43	44	5	1
柏崎中央	4	93.39	39	39	11	0
第6分區(6クラブ)	86.97	154	155	7	1	
十日町	3	94.91	33	33	1	0
小千谷	4	88.52	42	43	3	1
雪国魚沼	4	76.25	23	23	1	0
十日町北	4	95.45	22	22	1	0
津南	4	91.67	24	24	1	0
越後魚沼	4	75.00	10	10	0	0
第7分區(9クラブ)	80.69	306	312	26	6	
高田	4	92.15	53	60	0	7
直江津	4	81.42	49	49	2	0
新井	4	73.33	29	30	3	1
糸魚川	4	83.40	39	41	3	2
高田東	4	86.49	37	37	3	0
糸魚川中央	4	77.34	33	33	0	0
頸北	4	87.50	15	14	1	-1
越後春日山	4	63.88	51	48	14	-3

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,028 人
9月末 会員数	2,083 人
女性会員数	149 人
純増減会員数	55 人
当月平均出席率	84.45 %